

SGTHA-CO2

温度センサー

湿度センサー

CO₂センサー

Sigfox通信用(アップリンク)

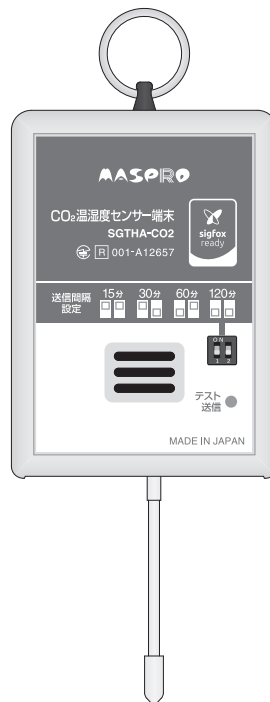
高精度センサー採用

本器は高精度なCO₂温湿度センサーを採用しているため、正確な温湿度やCO₂(二酸化炭素)濃度を取得することができます。

乾電池対応

本器は機器作動に乾電池を使用しています。電源ラインを引回すことがないため設置が容易です。

取扱説明書



安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告



- 本器の内部に、金属類や燃えやすいものを入れたり、水などをかけたりしないでください。火災・感電・故障などの原因となります。
- 本器はケース内部に強力磁石を取付けてあります。心臓ペースメーカーなどの体内植込型医療用機器を装着している方は使用しないでください。また、装着されている方に近づけないでください。体内植込型医療用機器の誤作動などの原因となります。



本器を使用するときは、本器の先端部が目に入らないようにご注意ください。けがの原因となります。



注意



本器を直射日光が当たる場所、高温になる場所、腐食性ガスや爆発性ガスが発生する場所、油、薬品、溶剤などのかかる場所、多湿、結露するような場所、機械的振動の多い場所、強力な電磁波が発生する場所、帯電しているものの近く、誘導加熱装置の近くには設置しないでください。故障・事故の原因になります。



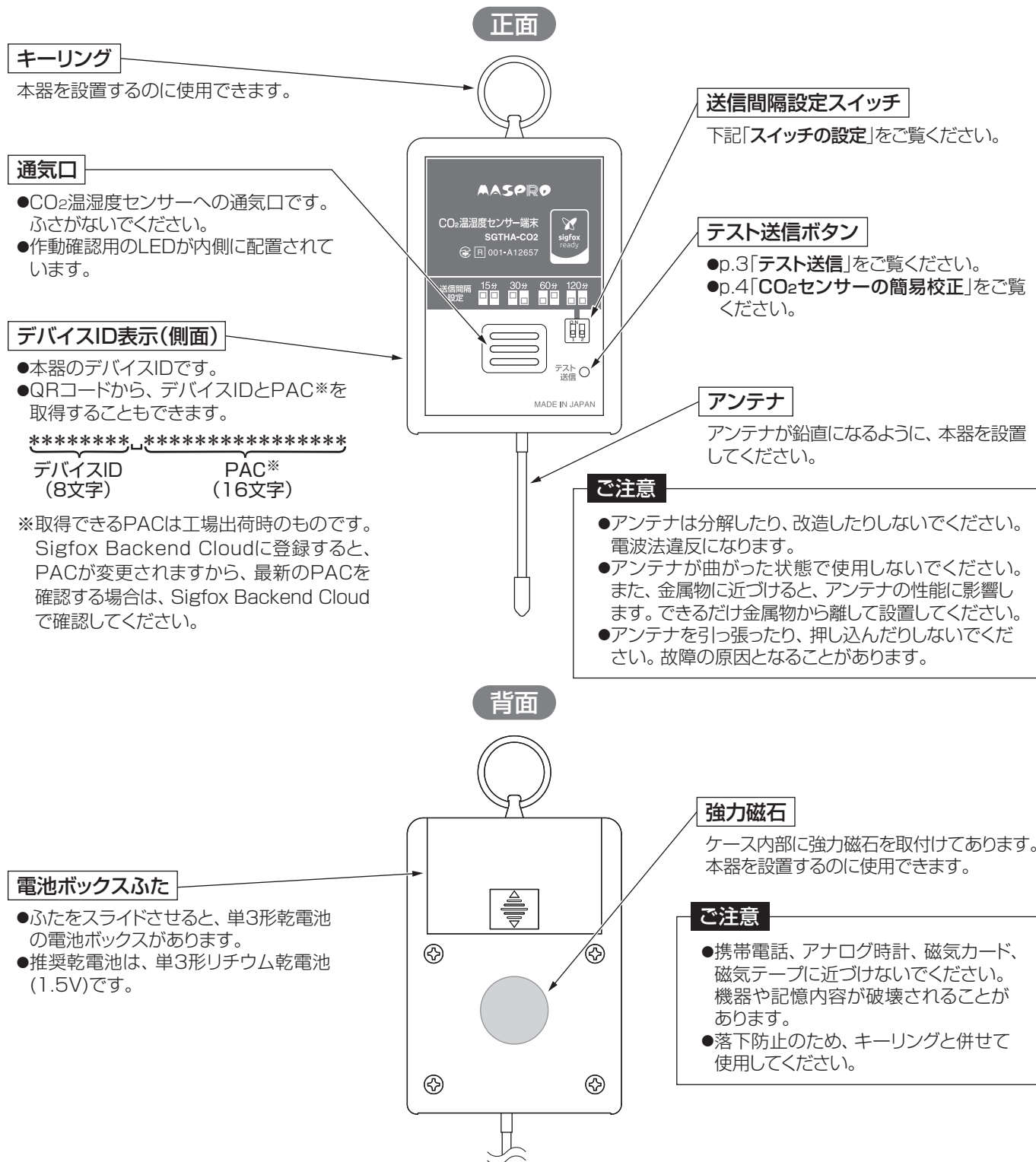
万一、電池が液もれして、液が目に入ったり、身体についたりしたときは、こすらずにきれいな水で洗い流して、すぐに医師にご相談ください。

使用上のご注意

- 本器を使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。
- Sigfox通信のサービスエリア外では、通信することができません。
- Sigfox通信のサービスエリア内でも屋内では通信できないことがあります。その場合、本器を窓際付近など通信が可能となる場所に設置してください。
- 分解したり、改造したりしないでください。改造などにより、本器に不具合が生じても、当社は責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 本器は防じん・防滴構造になっていません。ホコリの多い環境や水のかかる環境下で使用しないでください。故障の原因になります。
- 結露しないように注意してください。特に温度が急激に変化するような環境では、結露しやすくなります。
- 湿度センサーに影響を与える揮発性有機化合物や製品の劣化を促進する腐食性(硫黄)ガスなどが発生する恐れがある場所での使用、保管は避けてください。また、本器が高濃度の化学溶媒に長時間さらされることがないように注意してください。
- 本器に落下などの強い衝撃や振動を与えないでください。CO₂濃度の測定値がずれて、センサーの再校正が必要になることがあります。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

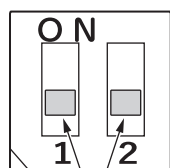
各部の名称と機能



スイッチの設定

送信間隔設定スイッチを設定することで、温湿度・CO₂濃度を測定して、送信する間隔を変更することができます。出荷時は120分になっています。

送信間隔設定スイッチ



つまみ
上側：「ON」
下側：「OFF」

送信間隔

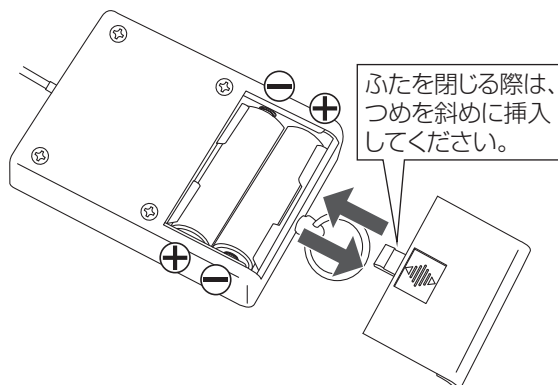
SW1	SW2	送信間隔
ON	ON	15分
ON	OFF	30分
OFF	ON	60分
OFF	OFF	120分

で注意

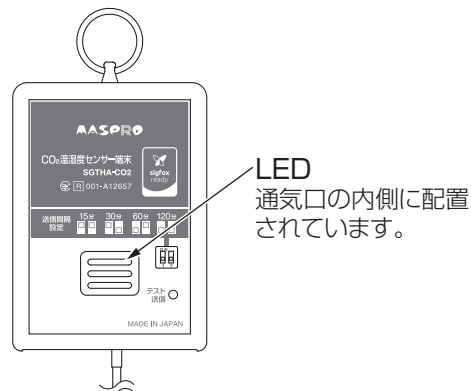
- 乾電池を入れる前に本設定を行なってください。作動中に設定を変更すると、予期しない作動となることがあります。
- 設定を変更する場合は、乾電池を一度抜いてから設定を行なってください。
- スイッチの操作は、ボールペンまたは小型ドライバーの先など、丸みのあるものを使用してください。

乾電池のセットと起動

- ① 送信間隔設定スイッチの設定が終わったら、乾電池を入れます。
推奨乾電池は、単3形リチウム乾電池(1.5V)です。



- ② 乾電池を入れると、LEDが約10秒間点灯します。
LEDが消灯すると、本器が起動します。
●LED点灯時は、CO₂温湿度センサーは作動していません。

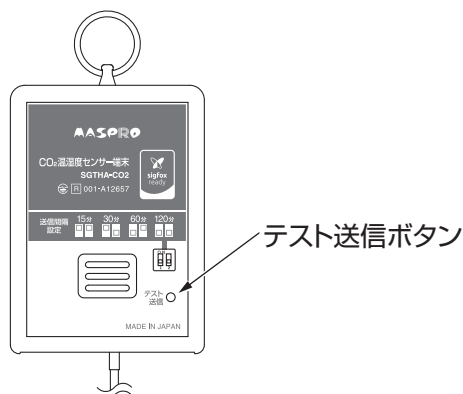


ご注意

- 乾電池の極性(プラス⊕とマイナス⊖)を間違えないように入れてください。また、使用推奨期限の過ぎた電池を使用したり、新しい電池と古い電池や、種類の異なる電池を一緒に使用したりしないでください。電池の破裂・液もれの原因となります。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しないときは、速やかに電池を取出してください。電池を入れたまま放置すると、液もれの原因となります。

テスト送信

本器が作動している状態(LEDが消灯)で、テスト送信ボタンを押すと、LEDが点灯し、現在の温湿度・CO₂濃度を測定して、送信することができます。



ご注意

- ボタンは連続して押さないでください。予期しない作動となることがあります。
- ボタンの操作は、ボールペンまたは小型ドライバーの先など、丸みのあるものを使用してください。

送信データフォーマット

送信データフォーマットは、以下のとおりです。

Byte	1 st , 2 nd	3 rd , 4 th	5 th	6 th , 7 th
ペイロード	温度	湿度	電池電圧	CO ₂ 濃度

① 温度

温度を10倍した値を16進数化し、ペイロード(1st, 2nd)に配置します。
氷点下温度※は、2の補数となります。 ※氷点下温度は、本器の使用温度範囲外となります。

例) 26.8℃ → 268(10倍) → 0x010C(16進数化)
 ⊖5.6℃ → ⊖56(10倍) → 0xFFC8(16進数化)

② 湿度

湿度を10倍した値を16進数化し、ペイロード(3rd, 4th)に配置します。

例) 50.5%RH → 505(10倍) → 0x01F9(16進数化)

③ 電池電圧

電池電圧を10倍した値を16進数化し、ペイロード(5th)に配置します。

例) 3.0V → 30(10倍) → 0x1E(16進数化)

●電池電圧が3.2V以上の場合、3.2Vと出力されます。

④ CO₂濃度

CO₂濃度の値を16進数化し、ペイロード(6th, 7th)に配置します。

例) 450ppm → 0x01C2(16進数化)

メンテナンス

定期的に下記の方法で、本器に付着したホコリなどを取除いてください。

ホコリを吸取る

掃除機のすき間用ノズルなどで、本器外側から通気口に付着したホコリを吸取ってください。

ご注意

- ほうき型、ブラシ型ノズルなどは使用しないでください。
通気口内にブラシが入り込み、故障の原因となることがあります。
- ブロアーなどでホコリを吹き飛ばさないでください。
センサー内にホコリが入り込み、センサーの性能に影響を与えることがあります。

ケース表面を柔らかい布で拭取る

乾いた柔らかい布などで、ケース表面に付着した汚れを拭取ってください。
汚れがひどい場合は、水、または、ぬるま湯を含ませたよく絞った布で拭取ってください。

ご注意

- 水洗いは絶対にしないでください。
- 洗剤や薬品は使用しないでください。
また、アルコール類が含まれている除菌、消毒ペーパーで拭かないでください。
湿度センサーに影響を与えることがあります。

保管方法

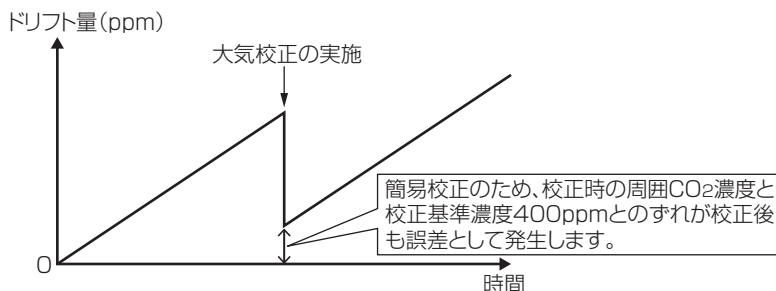
本器を使用せずに保管するときは、電池を取外し、本器の梱包箱、ポリ袋に入れて保管してください。

ご注意

非帯電性ポリ袋（一般にライトブルー、ピンク、ローズカラー）は使用しないでください。
また、封止などのために、接着剤や粘着テープを使用しないでください。
揮発性有機化合物が含まれるため、湿度センサーに影響を与えることがあります。

CO₂センサーの簡易校正

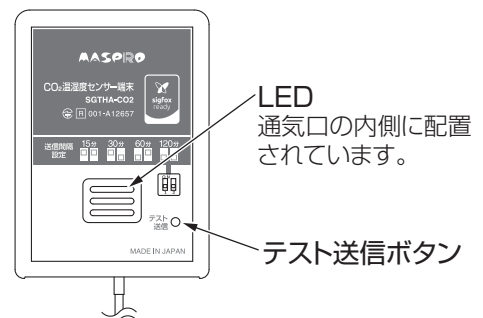
CO₂センサーは長期間使用すると、徐々にドリフト（誤差）が発生するため、校正が必要になります。（出荷時は校正を行なっています）
人がおらず十分に換気が行われた場所で、CO₂濃度が400±100ppmを外れるなど、異常と判断された場合には、
下記の手順でCO₂センサーの簡易校正を行なってください。



ご注意

本器の簡易校正は、校正時の周囲CO₂濃度を400ppmとする、大気校正方式です。
校正を行うときは、屋外や開いた窓の近くなど、十分に換気が行われた場所、かつ常温環境で実施してください。また、直射日光や風などが当たる場所での校正は避けてください。

- ① 本器を十分に換気が行われた場所に移動させます。
- ② 本器に乾電池を入れます。
 - 使用中の場合は、乾電池を取出し、10秒以上経過してから、乾電池を入れ直します。
- ③ 乾電池を入れると、LEDが約10秒間点灯します。その間にテスト送信ボタンを3秒以上長押しすると、LEDが点滅し、CO₂センサーの簡易校正が行われます。（30秒～約2分間）
- ④ 簡易校正が終了すると、LEDが消灯し、本器が起動します。



項目		規格
通信方式		Sigfox通信
Sigfox Ready 認証番号 (End product certificate)		P_017B_E6DD_01
送信出力		20mW以下
周波数		923.2MHz(アプリンク)
データレート		100bps
アンテナ		モノポールアンテナ
温度	測定範囲	0～ $\oplus 50^{\circ}\text{C}$
	測定精度 ※1	$\pm 1^{\circ}\text{C}$
湿度	測定範囲	10～90%RH
	測定精度 ※1、※2	$\pm 5\% \text{RH}$ (10～90%RH、 $\oplus 25^{\circ}\text{C}$)
CO ₂	測定範囲	0～40,000ppm
	測定精度 ※1	$\pm 100\text{ppm}$ (400～1,000ppm、 $\oplus 25^{\circ}\text{C}$) 測定値の $\pm 10\%$ (1,001～5,000ppm、 $\oplus 25^{\circ}\text{C}$)
使用電池		単3形リチウム乾電池(1.5V)×2本 ※3
消費電力		約300mW以下(測定時) 約120mW以下(通信時) 約0.02mW以下(待機時) [乾電池作動時(DC3V)]
使用温度範囲		0～ $\oplus 50^{\circ}\text{C}$
防じん防水性能		保護等級 IP30 ※4(屋内用)
外観寸法		67(W)×92(H)×29(D)mm(アンテナ、キーリング含まず) 67(W)×176(H)×29(D)mm(アンテナ、キーリング含む)
質量(重量)		90g(乾電池含まず)
摘要・その他		キーリング：本体取付済み 強力磁石：本体組込済み

※1 電池電圧が低下した場合や、急激な周囲環境変化による結露などの影響により、異常な値を示すことがあります。
また、直射日光や風などが当たる場所での使用は避けてください。

※2 溶媒蒸気やガス放出性のあるテープ、粘着剤、梱包材など汚染要因物質のある環境では、測定誤差が大きくなります。

※3 乾電池は付属していません。

※4 防じん・防滴構造ではありません。

＝マスコ電工＝

IoT営業部 西日本RFIDグループ
〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80
TEL 052-802-2210

IoT営業部 東日本RFIDグループ
〒141-0031 東京都品川区西五反田4-32-1 東京日産西五反田ビル10F
TEL 03-5434-8456

受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)
インターネット www.maspro.co.jp

- 製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。
- 記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。